



報道発表資料の配付日時 10月15日(金) 17時00分

発表項目 (行事名)	恒久的使用を想定した木造応急仮設住宅実証モデルの整備について
概要	<p>○ 道では、恒久的な使用を想定した木造応急仮設住宅を検討するため、清水町の協力のもと、町有地において実証モデルを整備します。</p> <p>道総研建築研究本部と連携し、実証モデルの施工性や完成後の住環境調査、恒久的住宅への改修方法などの検証を行い、木造応急仮設住宅の生産・供給体制や仕様などの課題等を把握し、木造応急仮設住宅の導入に向けた取組を進めます。</p> <p>1 事業の概要(予定)</p> <p>(1) 木造応急仮設住宅の実証モデルの整備(令和3年10月18日～12月中旬) 恒久的な使用を想定した木造応急仮設住宅において、施工手順の確認や整備方法を定めるため、建設から完成までの一連の流れを検証する。</p> <p>(2) 木造応急仮設住宅の住環境調査(令和4年4月上旬～6年3月下旬) 応急仮設住宅の供与期間と同じく2年間、住宅として利用し、入居中の音や寒さなど住環境調査を実施する。</p> <p>(3) 恒久的住宅への改修及び住環境調査(令和6年4月上旬～) 2年間の調査終了後に、外壁の断熱強化や2戸の住戸を1戸にする間取り改修を行い、改めて、恒久的な住宅としての住環境調査や耐久性などを検証する。</p> <p>2 実証モデルの概要</p> <p>建設場所 : 上川郡清水町北1条2丁目1-3(町有地)</p> <p>実証実験棟 : 木造応急仮設住宅(恒久仕様) 1棟2戸(1DK+2DK) 基礎は鉄筋コンクリート造</p> <p>工事工期 : 令和3年10月18日 着手予定 令和3年12月中旬 完成予定</p>
参考	

報道(取材)に当たってのお願い	
-----------------	--

担当 (連絡先)	<p>建設部住宅局住宅課(担当者:指導係長 川辺 篤史)</p> <p>TEL ダイヤルイン 011-204-5581</p> <p>内線 29-516</p>
-------------	--

木造応急仮設住宅実証モデルの概要

実証モデルの仕様

仕上	仕様	仕上	仕様
①構造	木造軸組工法（ブ レット加工）	①断熱材	床、外壁：熱抵抗値2.4m ² K/W以上 （高性能グラスウール16kg t100） 天井：熱抵抗値5.7m ² K/W以上 （吹き込み用グラスウールt300） 界壁：吸音材（グラスウール24kg t50）充填
②基礎	布基礎＋外断熱t50＋内断熱t50	②ユニットバス	追い炊き機能付き ※UB下部は断熱を施工
③屋根	片流れ屋根：塩ビシート防水t1.5	③暖房設備	FF式灯油ストーブ（ケルトップ型） ※微少運転機能付き、出力2.4kW以上
④軒天	有孔ボード t11	④凍結対策	屋外、床下の給排水管：凍結防止ヒーターを設置＋断熱被覆
⑤外壁	木外装t18（道産材）＋通気胴縁45×18@455＋透湿防風シート＋断熱材＋構造用合板t9＋アルミ水切	⑤便座	暖房便座
⑥界壁	準耐火 石膏ボード 12.5×2（両面）＋吸音材 ※壁下地材（縦桟）は千鳥配置	⑥灯油タンク	屋外型200L未満
⑦外部建具	玄関扉：断熱材充填ラッシュ構造 窓：住宅用断熱樹脂サッシLow-E複層ガラス、網戸付	⑦防暑対策	玄関側に通風用開口を設置
⑧内部建具	居室：アコーデオンカーテン 玄関、収納：カーテン（玄関は防災仕様）		

平面図

